

4-7 豊橋菱形基線場の再測定

Re-observation of Toyohashi Rhombus Line

国土地理院 地殻調査部

Crustal Dynamics Division, Geographical Survey Institute

国土地理院では、1975年11月に豊橋菱形基線場の距離測定を行なった。この基線場は中央構造線は挟むように設けられている（第1図参照）。

第1表および第1図に、前後3回の各辺の測定値と最近5年間の変化を示す。3回とも使用した機種が異なっているが、各辺とも縮みの傾向で距離変化率は最大 -0.3×10^{-5} である。

第2図は、上記の距離変化から求めた水平歪である。測定精度からみて特に有意な変動があったとは思われないが、東西方向が縮みで、最大せん断歪は $(0.3 \sim 0.4) \times 10^{-5}$ である。

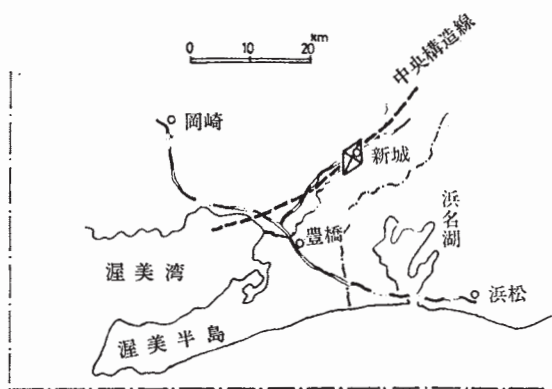
参 考 文 献

- 1) 国土地理院, 全国菱形基線結果, 地震予知連絡会々報, 第12巻, 161 ~ 162, 1974.

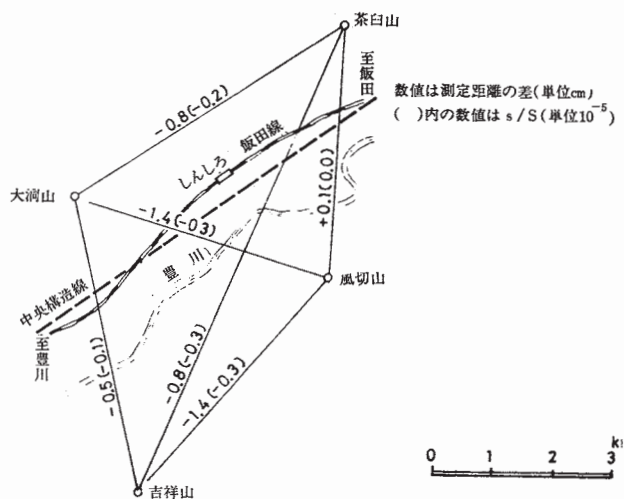
第1表 豊橋菱形基線場の距離およびその変化

Table 1 Distances and their changes in Toyohashi Rhombus Line.

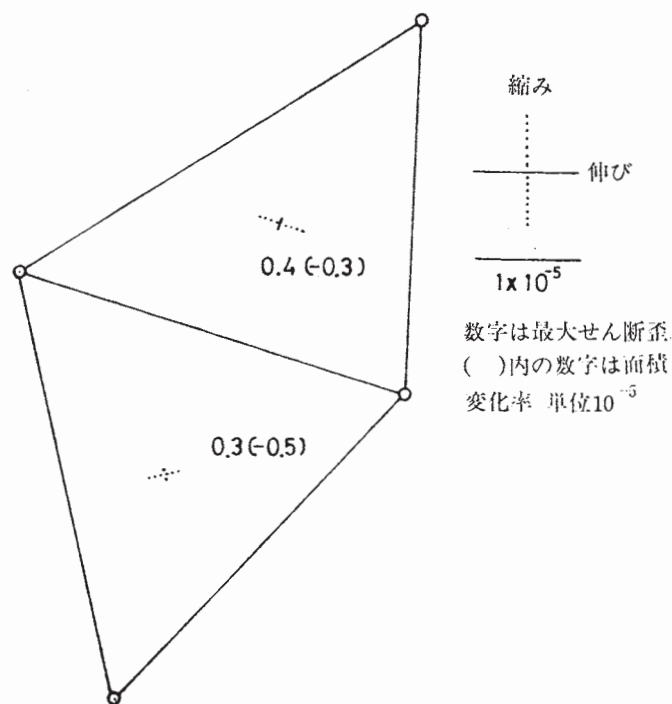
区 間 \ 使用器械 測定年	I (G-6) 1969. 3	II (G-6A) 1970. 1	II - I	III (G-6BL) 1975. 11	III - II
大洞山—茶白山	5252.864 ^m	.890 ^m	+26 ^{mm}	.882 ^m	-8 ^{mm}
” — 風切山	4443.440	.479	+39	.465	-14
” — 吉祥山	4589.820	.826	+6	.821	-5
吉祥山—茶白山	8024.301	.325	+24	.317	-8
” — 風切山	4580.603	.627	+24	.613	-14
風切山—茶白山	4022.076	.093	+17	.094	+1



第1図 豊橋菱形基線場位置図
Fig. 1 Location of the Rhombus Line.



第2図 豊橋菱形基線の距離変化
(1975.11 - 1970.1)
Fig. 2 Distance Changes in the Rhombus Line.



第3図 豊橋菱形基線場の水平歪 (1975.11 ~ 1970.1)
Fig. 3 Horizontal strains at the Rhombus Line.